■講義名　都市のマスタープランにおけるアセスメントとPDCA
■講　師　木内望　及び特別講師
■時　間　18:40-21:35
■形　式　Zoomによるオンラインを基本とする

■講義の目的
　人口減少・環境・財政等の諸制約に対応して、都市生活の向上・都市の持続可能性を追究する現代の都市計画においては、都市レベルのマスタープランの策定とその計画管理においても、計画による達成目標を明確に定めた上で、計画策定時における代替案の比較などの事前評価と合意形成に基づく選択、計画実施期間中の中間評価に基づく計画の修正・見直しなどが望まれる。この講義では、今後の都市計画のあり方を考えるための題材として、いくかの事例をとりあげ、現状と課題と今後の可能性を議論する。

■各回の構成
・各2コマの前半を外部講師による事例紹介と、背景説明、ディスカッションで構成
（外部講師都合により入れ替えあり）
・一部の講義（事例紹介等）は外部の講師が行う

11/4(金)
・概要説明・基本事項の解説など
・持続可能な都市づくりにおけるアセスメントとPDCA、評価指標とロジック

11/11(金)
・立地適正化計画と評価指標、達成度評価について：国土交通省都市計画課 小林＆柳田企画専門官
・都市・地域の持続可能性アセスメント：小泉秀樹教授（持続再生学コース）

11/18(金)　対面とオンラインのハイブリッドで実施する可能性あり
・人口激減都市夕張におけるコンパクトな都市づくりとその計画管理・見直しについて：北海道大学 瀬戸口剛教授
・人口急減都市における都市経営（維持管理費の削減）とアセスメント、合意形成

11/25(金)
・都市計画のアセスメントと計画管理を支える支援技術について：（国研）建築研究所阪田知彦上席研究員
・アセスメントとPDCAにおける情報・解析技術の活用

（以上）